

① 2022年度の活動における実績

- 12月の本格運用から、会員は242者に、アイデアは19件に、シーズは45件まで増加した。
- 業界団体や個別企業への営業や「優れた提案の審査」の締め切りの設定が、登録数に影響したものと考えられる。

A-ideaの稼働状況

会員数

242者

名古屋大学、名古屋工業大学、三菱電機(株)、豊田合成(株)、日本特殊陶業(株)、(株)中日新聞社、(株)NTTドコモ、(株)プロドローン、(株)Sonoligo、グランドグリーン(株)、(株)ミライ菜園、豊明市 など

アイデア

19件

空と道がつながる愛知モデル2030【(株)プロドローン】
シニア向けeスポーツプロジェクト【BLUE BEES(株)】
カギケノリ (Asparagopsis taxiformis) による反芻動物のメタン対策【名古屋産業大学大学院】
あいち Health and Food Valley構想【グランドグリーン(株)】 など

シーズ

45件

半導体量産装置の稼働率を上昇させる画期的なプラズマプロセスモニター
ウイルス不活性化機能をもつエアカーテン装置
高分子材料と細胞との相互作用を活用した臓器・組織再生促進デバイス など

会員間のマッチング…… 2件

※2023年3月22日時点

① 2022年度の活動における実績

- 2023年3月9日に中部経済産業局が運用する「Meet up Chubu」でのコラボイベントを実施し、A-ideaの利用者による技術・研究シーズの発表のほか、A-ideaの運用状況や愛知県の支援施策の紹介をした。
- 現地・オンライン参加合わせて総勢138名が参加し、「アイデアの参考になった」「今後も参加したい」という声があった。
- 今回の開催結果を踏まえて、次年度のイベントを企画していく。

Meet up Chubuの開催

テーマ：社会課題・地域活性化（A-idea）

日時：3/9（木）15：30～17：20

場所：ナゴヤイノベーションズガレージ(ナディアパーク4F)※オンラインハイブリット

●トークセッション（愛知県×中部経済産業局）

県の社会課題やアセット、A-ideaの運用状況等について（15:30～15:40）

1. DX

（1）「製造現場におけるDXの始め方や活用方法、研究事例の御紹介」（15:40～15:55）

名古屋工業大学 工学専攻 情報工学系プログラム 准教授 大塚 孝信 氏

（2）「Monitの紹介と、マッチングの可能性について」

トランスミット株式会社 営業部 成沢 彩希氏

（3）「製造業の開発・生産技術領域におけるデータ活用による最適化技術」

（16:10～16:25）

株式会社SUPWAT 代表取締役CEO 横山 卓矢 氏

（4）「集団スポーツの戦術的な動きを機械学習の予測に基づき評価する」

（16:25～16:40）

名古屋大学大学院情報学研究所 知能システム学専攻
基盤知能情報学 准教授 藤井 慶輔 氏

2. 文化芸術

（1）「子ども達が文化体験を通じ、可能性を広げる。『Sonoligo Kids』」

（16:40～16:55）

株式会社Sonoligo 代表取締役CEO 遠山 寛治 氏

（2）「AI音声合成・AI歌声合成」（16:55～17:10）

株式会社テクノスピーチ 代表取締役 大浦 圭一郎 氏

●愛知県の支援施策（補助金）に関する説明（17:10～17:20）

●おわりに（17:15～17:20）

●交流会（17:20～）

■申し込み者数

現地：47名

オンライン：107名

■当日参加者数

現地：53名（登壇者、事務局含む）

オンライン：85名（ピーク時）



■参加者の声（アンケート結果）

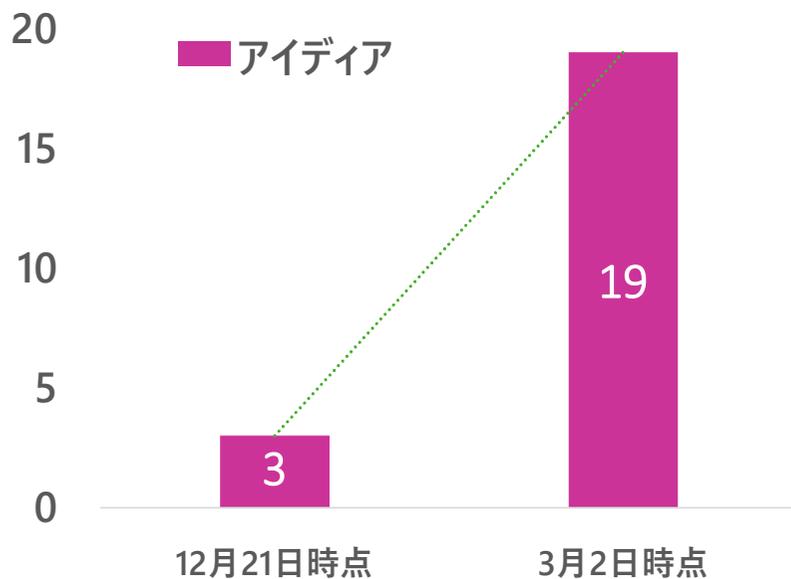
- ・A-ideaに登録されている企業が垣間見えて、よかった。
- ・いろいろな意見が聞けて良かった。アイデアの参考になった。
- ・各企業の代表者の皆様の熱意を感じました。
- ・今後とも参加したいと思っている。
- ・講演者一人一人の発表時間が短すぎたのではないかと。



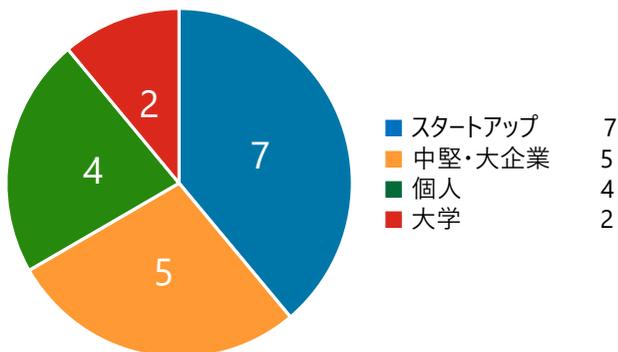
① 2022年度の活動における課題

- 本格運用後、スタートアップを中心にアイデアの提案数は大きく伸びた。
- 会員に対して実施したアンケート結果では、以下の課題が明らかになった。
 - ①事務局側として、優れた提案が採択された後の最終ゴールの姿を提示することができず、企業側が社内で意思決定するための十分なメリット・判断材料を提示できなかった。
 - ②多くの会員がA-ideaでのマッチングを期待していることから、マッチングの支援。
 - ③アイデアの内容を検討している会員から、能動的なアイデアの掘り起こし。

アイデアの登録状況



登録者分類



アンケートの実施

アンケートの実施時期

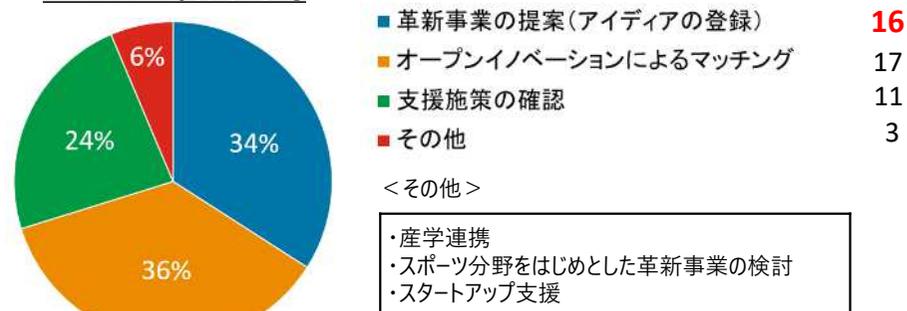
2023年1/27（金）～2/3（金）

アンケートの対象

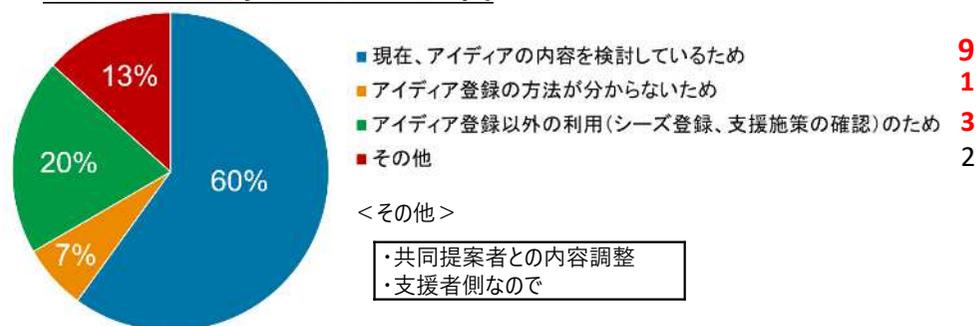
会員178名（回答者数31名）

アンケートの結果

A-ideaの利用目的



アイデアを登録されていない理由



① 2022年度の活動における課題

アンケート結果

アイデア登録に関する課題①（求める提案内容）

- 事務局の趣旨に合った登録方法
- まだ登録してないので分かりませんが、問題点や課題を集約してサポートしていただければ助かります
- アイデアに対する課題感のGAPに対する提言
- まだ着手できていないのですが、A-ideaが有効な手段か、機能するのか、県の熱量などが見えないところもあり、漠然とながらハードルが高いように思えます。

アイデア登録に関する課題②（マッチングの支援）

- 産官学のマッチング
- マッチングイベントのようなもの
- 登録者が上手にA-ideaを活用できるように、登録者同士の横の繋がりへの支援
- 投資家からのオファー、M&Aのオファー、交流会やピッチ等のイベントの紹介
- 大企業×スタートアップの連携促進イベントを開催してほしい
- 大学との連携が取れるといい。知識がないことで中小企業は悩みがある
- 登録者が上手にA-ideaを活用できるように、登録者同士の横の繋がり
- スタートアップからつながりたい組織へのマッチング支援（組織への働きかけ等）が積極的にしていただけると嬉しいです

その他

- 学生など自由で形にこだわらないアイデアが集まることを期待しています。
- アイデアを登録する際に、長文の入力フォームの縦幅が非常に小さく、また拡大できない仕様になっていたため、修正などが大変でした。
- 愛知県、東海地区、全国へと広げてください。

②さらなるイノベーション創出に向けた課題

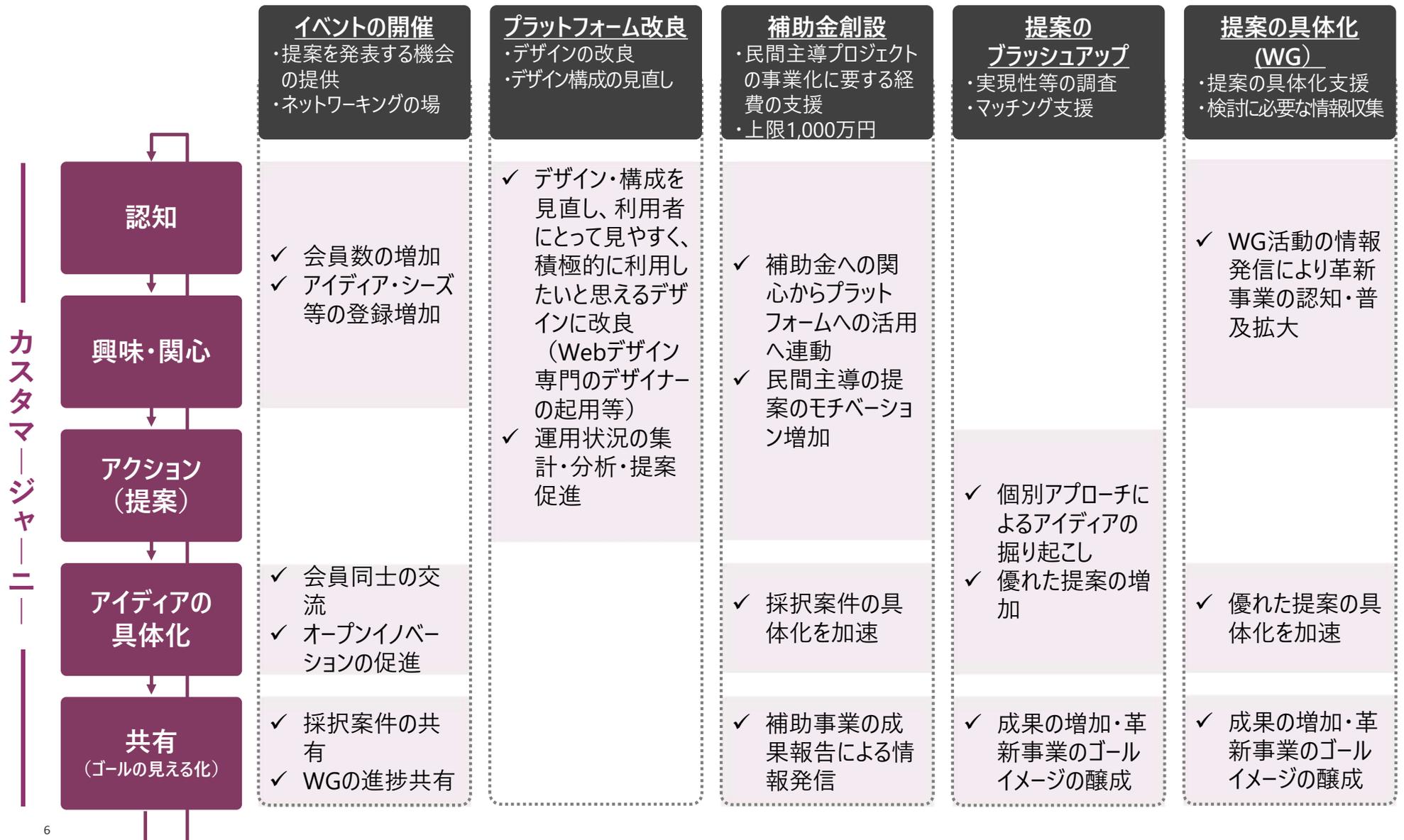
- 2022年度は、全国に例のない、新しい枠組みとして「革新事業創造戦略」を策定し、本戦略に基づき「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-idea）を構築・運用した。
- これまでの行政施策とは一線を画し、この新たな枠組みを「一つのプロトタイプ」として、戦略会議の委員やA-ideaのユーザー（以下、「ユーザー等」という。）からのフィードバックをもとに、検証・改良を加えていくことが重要である。
- 具体的には、ユーザーにとってメリットが伝わりづらいことや、県に採択されたアイデアの最終ゴールが見えづらいこと、プラットフォームを使いたいと思わせるようなデザイン性の不足などの課題等を、しっかりと検証し、改善していくことが必要である。



②2023年度の取組の方向性

- 2022年度の取組を踏まえて整理したユーザー等の課題に対して、認知からアクション（提案）、アイデアの具体化、共有（ゴールの見える化）といったカスタマージャーニーに沿った取組を検討することが重要である。
- 2023年度は、イベントの開催、プラットフォームの改良、補助金の創設、見込みのある提案のブラッシュアップ、提案の具体化（WG）を中心に取組を展開していく。

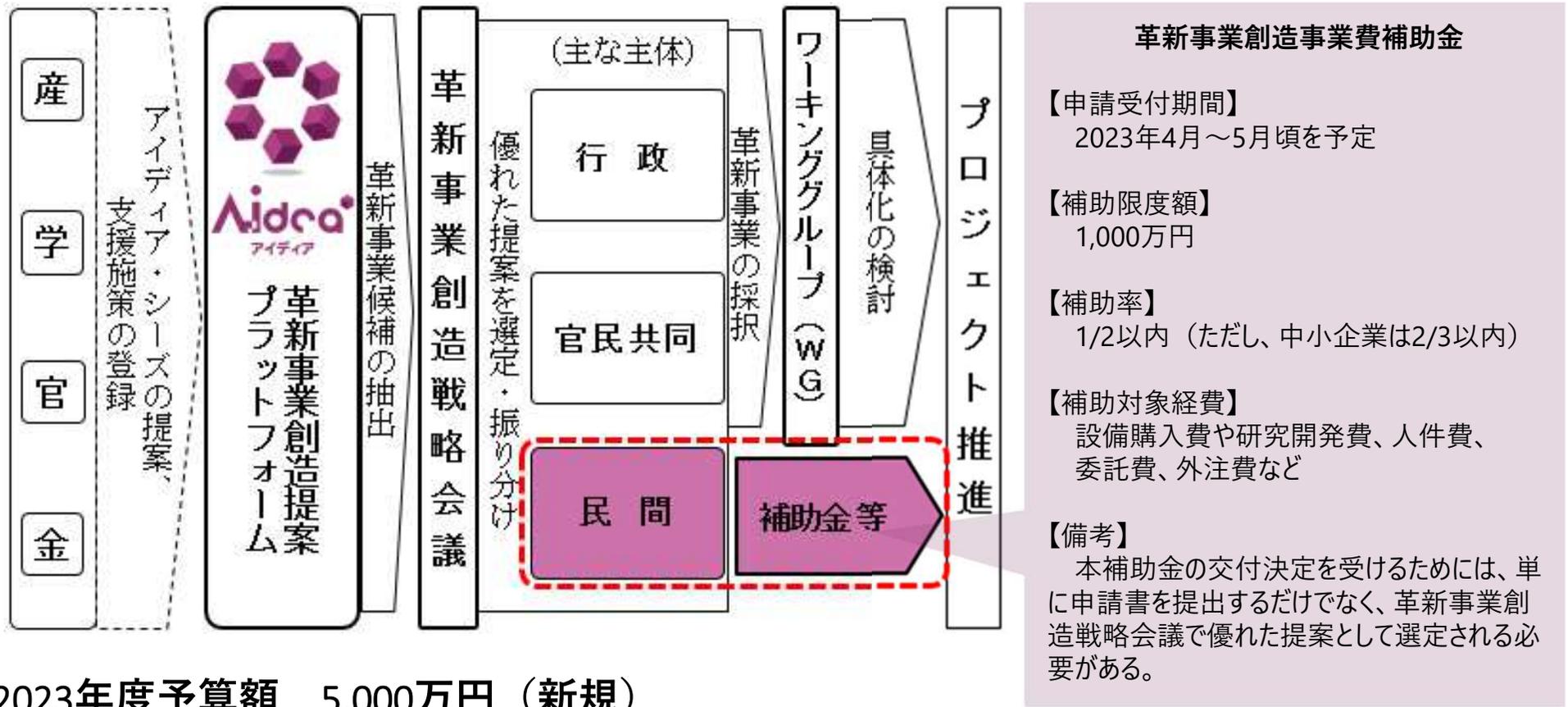
主な取組と狙う効果



革新事業創造事業費補助金の創設

- 革新事業創造戦略会議で選定された優れた提案のうち、民間主導で行うプロジェクトについては、事業化に向けた実証研究等に要する経費を革新事業創造事業費補助金（2023年度から創設）で支援する。
- 補助金により、プロジェクトの具体化を強力に後押しすることで、社会課題の解決と地域の活性化を図る。また、早期に成功事例を生み出すことで、次々とイノベーションが巻き起こる機運の醸成に繋げる。

概要



2023年度予算額 5,000万円（新規）

2023年6～7月頃開催予定の「第5回革新事業創造戦略会議」では、県に補助金を申請している民間主導の案件もご審査いただく予定。

②2023年度に実施すべき事項（今後のスケジュール）

マイルストーン		令和5年										令和6年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
革新事業創造戦略会議 												アイデアの提案状況を踏まえて適宜開催		
主なアジェンダ		<ul style="list-style-type: none"> 優れた提案の採択（補助金案件の採択） WGの状況 PF改修の方向性 イベント企画案 												
優れた提案の具体化														
ア	ワーキンググループの組成	→		戦略会議で採択した提案をWG化						→		→		
イ	ワーキンググループの運営	座組が整い次第、提案の具体化に向けて運営												
革新事業創造事業費補助金														
ア	募集	PR・広報				戦略会議で採択された民民事業を補助金として採択								
イ	採択・執行				採択		執行（予算枠に応じて追加募集する可能性もあり）							
プラットフォーム「A-idea」の管理・改修・運営														
ア	デザインや構成の改良	企画							Web リニューアル					
イ	機能の改良	本格運用以降、随時機能強化												
ウ	運営	アイデア・シーズの募集、マッチング												
イベントの開催														
ア	プラットフォームの活性化に向けたイベント				第1回			第2回			第3回			